

第35回（平成28年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：72

	学校名	学年	氏名	題名
優 秀	下川口小学校	1年	竹葉 俊陽	「アリとくらすむし」をよんで
	清水小学校	2年	増岡 芽琉	「ともだちおまじない」を読んで
入 選	三崎小学校	1年	山本 実穂	へいわってどんなことかかんがえたよ
	下ノ加江小学校	1年	後藤 輝世人	むしたちのうんどうかい
	幡陽小学校	2年	江口 璃音	「あいつも友だち」を読んで
	三崎小学校	2年	浜口 夏葵	うれしい気もちのボタンちゃん
	下ノ加江小学校	2年	清水 大樹	「ひまわり」を読んで

【審査評】

- ・低学年では、作品数が少なくてさみしかった。
- ・作品を出している学校は、忙しい中、同じ本ではなく一人ひとりにちがった本を読ませて書かせていて、熱心に指導してくれていることがうかがえる。
- ・原稿用紙の使い方（改行や一字空き等）の指導と、出品前の誤字脱字指導を行って出せると良いと思う。
- ・あらすじだけで終わらず、自分の言葉でかわいらしい表現が見られると、読むほうも笑顔になる。気持ちや生活を綴る分量がもう少し増えると良い。
- ・低学年で2枚の原稿用紙を書ききるのには、時間もかかって大変とは思いますが、やはり、最後の行まで書ききるつもりでがんばってほしい。

第35回（平成28年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：120

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	足摺岬小学校	3年	川久保 侑	強くて『すごい心』をもったマララさん
優 秀	下ノ加江小学校	3年	戸田 ころろ	せんそうについて考えたこと
	下川口小学校	4年	谷村 翔李	「ジョン万次郎二つのふるさとをあいした少年」を読んで
入 選	中浜小学校	3年	長崎 まりも	「こびとづかん」を読んで
	下川口小学校	3年	川村 尚己	「さかさ町」を読んで
	三崎小学校	4年	島岡 玲奈	友だちを大切に
	清水小学校	4年	二神 琴	「うさぎの庭」を読んで
	下ノ加江小学校	4年	山下 雄翔	「がんばれ名犬チロリ」を読んで

【審査評】

- ・ 中学年は沢山の応募があった。
- ・ 句読点の打ち方や改行の仕方に間違いがあった。
- ・ あらすじ書きになっている感想文があった。
- ・ 原稿用紙3枚に足りない感想文もあった。

第35回（平成28年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：127

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	足摺岬小学校	6年	川久保 和	「それでも僕は夢を見る」を読んで
優 秀	下川口小学校	5年	岡田 昂大	川は生きている
	清水小学校	6年	扇喜 舞花	詩は楽しい
入 選	清水小学校	5年	中野 心遥	「ふたりという大切さ」
	三崎小学校	5年	京谷 凧敏	「老人と海」を読んで
	下川口小学校	6年	黒田 愛美	「教室 - 六年一組がこわれた日 - 」
	中浜小学校	6年	藤原 奈々	「新しい日本を切りひらいた幕末の志士 坂本龍馬」を読んで
	足摺岬小学校	6年	松下 瀧斗	「読書マラソン、チャンピオンはだれ？」を読んで

【審査評】

- ・行事が忙しい中で、多くの作品が寄せられた。
- ・本を選んだ根拠がしっかりと書かれている作品が多く、驚きや発見を素直に表現できていた。
- ・量が足りていないため、書ききれない作品やあらすじに一言感想を挟んだ作品、誤字、句点が多いものがあった。
- ・「なので」と表記されているものが気になった。「だから」や「ですから」等書き換えてはどうかと思う。
- ・「すごい」の一言で気持ちを表しているものは、具体的に表現できればもっと読み手に伝わると考えられる作品が多くあった。

第35回（平成28年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜中学校の部＞応募総数：276

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水中学校	3年	田村 寿珠	「とんび」を読んで
優 秀	清水中学校	1年	福山 修都	信用して
	清水中学校	2年	谷脇 碧唯	もう一つの夢
入 選	清水中学校	1年	谷村 菜々香	わたしたちの音
	清水中学校	2年	酒井 菜緒	「努力と挫折と応援の夏」
	清水中学校	3年	秋元 萌香	分かり合う秘密の兄弟

【審査評】

- ・ 読書で得た感動をもとに、登場人物の言動から心情を推し量ったり、現在の自分と比較して理解を深めたりして、小説を読み解き、精一杯表現している作品が多くありました。また、素直に驚き、感心し、あこがれ、本を読む過程で、考えが変化していく様子に、中学生の持つ可能性の大きさを感じました。
心の糧にできるような読書をこれからも続けてください。

第35回（平成28年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜高等学校の部＞応募総数：95

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水高等学校	2年	畑山 菜の子	猫を抱いて象と泳ぐを読んで
優 秀	清水高等学校	1年	佐竹 亜優	『明日もまた生きていこう』を読んで
	清水高等学校	2年	津口 萌香	ツナグを読んで
入 選	清水高等学校	1年	多田 美友	家族や仲間、夢を諦めない心の大切さ
	清水高等学校	2年	奥谷 汐里	ジョン万次郎

【審査評】

- ・本年度は、「生きること」や「命」の大切さについて改めて考えてみるものが描かれている感想文が多く寄せられていました。チェスや死者との邂逅、病に冒されるなど、さまざまな出来事に素直に直面しながらも「強い思い」を持って活動に取り組む主人公たちに共感しながら読むことはなかなか難しかったのではないかと思います。これからの自分に対する教訓としてうまく取り入れることができていると思います。
- また、実話や実際の社会問題を元になら書かれていた本を取り上げたものは、郷土の偉人ジョン万次郎に取り組み、自分の海外体験を活かしつつ、ジョン万次郎がいかに広い外の世界を受け入れ、受け入れられていったのかを考えるといったものなど、作品世界を通して現実世界や自分自身が抱える問題を発見し、その発見を大切にしながら、自らの率直な思いや希望を自分の言葉でまとめあげていました。
- 今回、皆この読書を通して自分を外の世界とつなげ、こころを鍛え豊かにすること、視野や価値観を広げることができたのではないかと思います。